

2021年9月発売予定

AIプロセッサーを標準で搭載し、カメラ内で顔や人、車両、二輪車を自動で識別することが可能。AIアプリケーションによる映像の分析・解析をすることで、事件事故の未然防止への貢献や業務を効率化。

PRO

ONVIF® | S T
WV-S1135V / WV-S1115V



写真はWV-S1135V

屋内対応 WV-S1135V : フルHD(1920×1080)、WV-S1115V : HD(1280×720)

<レンズ付き : 3.2倍パフォーカルレンズ標準>
<落下防止ワイヤー 付属><ワイヤー取付金具 付属>

S
series

メガピクセル (3 M※1 / 2 M)※2 メガピクセル (1.3 M)※3	3.2倍パフォーカル	フォーカスアシスト (FA)	簡易白黒切替	インテリジェントオート (iA)	スーパーダイナミック 144 dB
AI音識別機能	スマートVIQS / スマートピクチャ制御	GOP制御 (Group of pictures)	H.265, H.264 / JPEG	PoE 対応	耐衝撃性
防塵性・防水性	除湿機構	自動追尾	AIカメラ用機能拡張ソフトウェア (オプション)※4	かんたんキッキング梱包	SDメモリーカード

※1 : 超解像度技術使用時 ※2 : WV-S1135V ※3 : WV-S1115V

※4 : AI物体検知 AI-VMD(WV-XAE200W)、AIプライバシーガード(WV-XAE201W)、ナンバー認識(WV-XAE202W)、AIマスク非着用検知(WV-XAE203W)、AI混雑検知(WV-XAE207W) など

ネットワークカメラ本体にAI機能を搭載

- 本機はAI機能を実現する専用のAIプロセッサーを内蔵し、カメラがとらえる画像や音声の分析・解析をカメラ内部で実施することによって、システム全体の処理負荷を軽減できます。また、カメラ内で顔や人、車両、二輪車を自動で識別し処理が可能。
- 本機はAIプロセッサーを活用する機能拡張ソフトウェアを2つインストールできる構造を持ち、最大2つ同時に動作させることができます。機能拡張ソフトウェアとして「AI-VMD」「AIプライバシーガード」をプリインストール(90日間お試し版)。
- その他に、「ナンバー認識」「AIマスク非着用検知」「AI混雑検知」などを提供します。
- 同時にソフトウェア開発キット(i-PRO Camera SDK)の提供も行い、サードパーティによるアプリケーション開発を可能にしました。

◎ソフトウェアの種類と機能の詳細および対応機種一覧はサポートウェブサイトの「技術情報」管理番号【C0103】を参照。また、ソフトウェアを追加の際は、プリインストールされたソフトウェア(AI-VMD/AIプライバシーガード)のアンインストールが必要です。



銃声や悲鳴、クラクション、ガラスが割れる音、といった種別ごとのAI音識別機能を搭載※5

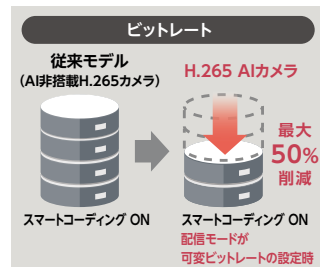
新しくAI音識別機能を搭載し、人の叫び声やガラスの破損音、クラクション、銃声といった音を識別しアラーム通知することで、映像監視をより強化することを実現しました。

※5 : AI音識別機能利用時の推奨マイクはサポートウェブサイト「技術情報」の「AI音識別用マイクの接続動作情報」をご覧ください。

AI処理による物体検知と連携させた弊社独自のスマートコーディング技術※6を搭載し、更なる低ビットレート高画質ストリームを実現

- AI処理による物体検知と連携することで、物体検知領域、非検知領域の圧縮率を制御し、従来のスマートコーディング技術と比べデータ量を最大50%※7削減できます。
- 顔や人、車両、二輪車を低圧縮に、それ以外の領域を高圧縮に制御することで、見たい部分の画質を保持したまま、データ量を削減します。

※6 : 検知物体以外の領域の圧縮率を上げ、検知物体の有無に応じてリフレッシュ間隔およびフレームレートを最適化することにより大幅に帯域削減する技術。
※7 : 圧縮効果は録画条件や撮影環境により異なります。本効果が得られるのは配信モードが可変ビットレートの場合のみです。



AI処理による物体検知と連携させた、弊社独自のインテリジェントオート(iA)機能

低照度での色付き、よりブレを抑えたノイズリダクション

設置時間短縮を可能にする「かんたんキッキング梱包」、「i-PRO 設定ツール(iCT)」

「動作検知(VMD)」と「妨害検知(SCD)」を標準搭載

i-PRO AIネットワークカメラ Sシリーズの特長について詳しくはこちら >



